

らく さい
楽西 第114号

平成27年8月10日発行

発行者

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町1-67

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター

TEL 075-333-0171 FAX 075-333-0172

Eメール info@kyo-ssc.com

URL <http://www.kyo-ssc.com/>

理事長挨拶

★デンマークを旅して

6月上旬にデンマークを6年ぶりに訪問しました。デンマークは九州ほどの面積に約560万人が暮らす北欧の小さな国ですが、福祉先進国として有名で、医療費、教育費（大学の授業料など）はじめ、介護などの老後の費用も一切無料です。子育て支援が充実しており、女性の社会的進出は目覚ましく少子化は克服したといわれています。これらのサービスはすべて税金で賄われており、そのため所得税平均50%、



消費税は一律25%で、世界で最も税金の高い国となっています。それだけ高い税金を払っていても国民生活に必要な医療、教育、老後、子育てに関して経済的に心配することなく安心して暮らせるため、高税に不満を持つ国民は少ないといわれています。

デンマーク国民は、自分一人では高齢者や障害者を支えることはできないが社会全体で支えることはできる、そのために必要な費用を税金という形で国民が連帯して分担するのだ、と考えています。従って、納税は社会連帯の証しであると理解されています。

デンマークは、たとえ障害があっても人間として平等であり、共に生きることでできる社会を目指すノーマライゼーションという福祉の思想が誕生した国です。お互いに困ったときには助けあうという国民的な合意があるようで、私が街で道に迷った時に親切にわざわざ目的地まで案内してもらったときは本当に感動しました。日本と違って点字ブロックがない国ですが、それは視覚障害者が助けを必要としたときに手を差し伸べたり、支援するのは当然だからなのではないでしょうか。デンマークから学ぶことの多いことを今回も実感した旅でした。

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター

理事長 野村 武夫

情報交差点

毎年、施設の利用者さんと職員・ボランティアの皆さんが一丸となって企画運営を行い、地域の皆様や視覚に障害のある方に、視覚障害者福祉の啓発と事業への理解を深めていただきながら、楽しんでいただくためのお祭りとして開催している「洛西寮夏まつり」。

今年は少し時期をずらし、『洛西寮まつり』として開催いたします！
ぜひ、遊びに来てください♪



第30回

日時：平成 27 年 9 月 5 日（土）

午前 11 時～午後 3 時 雨天決行

会場：障害者支援施設 洛西寮 及び らくさい治療院

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-67

電話：075-333-0171

◎ 自主製品販売コーナー

◎ 視覚障害者啓発コーナー

点字教室 ～点字で名刺を作ろう！～

アイマスク体験 ～卓球バレー・ビーズ通し～

機器紹介

◎ 模擬店コーナー

焼きそば、たこ焼き、唐揚げ枝豆セット、ポテト、

かき氷、ビール、ジュース、あてもん

上桂のパン屋さん『パンくま』さんによるパンの販売

◎ 洛友会（利用者自治会）コーナー

ボーリング

◎ イベントコーナー

合唱・演奏・お笑いなど！お楽しみに♪

◎ ミニバザー

◎ 後援会コーナー

他施設自主製品販売・黒豆茶試飲など

◎ マッサージ無料体験コーナー（会場：らくさい治療院）

洛西寮まつり

こんな話！あんな話！

■□■ 洛西寮30周年記念事業 ■□■



今から30年前、視覚障害者を対象とした全国的にも特色のある『身体障害者授産施設 洛西寮』がこの地で誕生しました。「三療以外の働く場を！」という願いから創立されたものでした。

あれから30年、視覚障害者の置かれた社会状況・制度はもちろん、洛西寮が建っている地域の町並みも大きく変わりました。

平成23年10月より『障害者支援施設 洛西寮』と法改正により名称を変更、平成25年4月から、新たに就労継続支援B型『らくさい作業所』を新設、それまでの生活介護（ちくりん）と施設入所支援とを併せて新たな事業所の再編が図られました。

それでは、洛西寮が創立されて30年を経た今、どれだけ視覚障害福祉や施設に対する感心や理解が進んだのでしょうか？

確かに、法律や制度が変わり、ずいぶん市民のご理解も増し、街で一人歩きをする場面などでは、多くの声かけやご支援を賜るようにはなってきました。しかし、まだまだ視覚障害や施設のことをご存じの方々も限られており、私たちはこの機会に、地域をはじめ、多くの府市民の方々に対し、広く、正しく啓発・広報することの大切さを感じています。そして共に障がいのある人も無い人も安心して生きて行ける社会を目指して新たな目標を掲げて前進します。

記念事業の企画内容

私たちは、この記念の節目にあたり、利用者、職員、ボランティアとご家族のご支援も得て、法人、施設、洛友会（施設利用者の自治会）、後援会が協力して、以下の三つの事業を企画します。

第1の企画…「施設オープンデー」 日時 11月7日(土)

洛西寮を知ってもらうことを念頭に短時間ではありますが施設開放をし、利用者、家族、ボランティアの方々、法人・施設が一丸となってステージ発表、製品販売、体験会を行います。

第2の企画…「自主製品作りへのチャレンジ」

これを機会に自主製品の開発と洛西寮が何時までも働き続けられる事業所であるための製品作りに取り組みます。

第3の企画…「洛西寮30周年記念パーティー」 日時 2016年1月22日(金)

利用者の多くが希望する外部での記念の催しを実現します。現在企画検討中です。

事業所便り

就労継続支援A型事業所 らくさい治療院

竹やぶがこの地を飾っていたのは約40年前、それは自然に囲まれた空気も水もおいしく、何もなかったところだったと患者さまから懐かしい話しを聞かせて頂きました。

そして、洛西ニュータウンの開発が始まると同じくして、1978年新林に、1981年福西に三療指導所が開所し、それから37年が経ち、現在はらくさい治療院として生まれ変わりました。三療指導所からの患者さまに加え、新規の患者さまにも支えられ経営・運営状況は順調です。

その、らくさい治療院も開所してから3年目、季節の移り変わりの早さを感じています。時代は変わり、現在らくさい治療院から車で15分圏内にリラクゼーション（無免許手技療法）が15件ほどあります。さらに接骨院、晴眼者の鍼灸院を合わせると数え切れないほどの乱立ぶりです。

このような厳しい状況の中、らくさい治療院はやっていかなければなりません。そこで、我々の強みは何なのかをもう一度考えてみました。そして、導き出した答えは触診能力。視覚障害はあるが、拇指に目がついているのかと思うくらいの鋭い感覚が我々の強みであり、それを鍛えに鍛えに鍛えているのが、らくさい治療院なのです。その成果もあってか、口コミにより、年々患者数が増えてきています。

また、開所当時から取り組んでいることがあります。それは患者さまの話を傾聴することです。我々は、視覚以外の感覚器がとても鋭く、例えば声色の変化や、患者さまの雰囲気・様子などを視覚以外で捉えています。目で見ている以上に深い部分を感じ取っているのです。そこで、コミュニケーションの基本である、傾聴に着目しました。これも視覚障害者の聴覚を生かした強みになりうると思っています。

このように日々努力しているのは、すべて患者さまのためであり、それが利用者（スタッフ）の収入に反映されるからです。これからもより一層地域に根ざすことを目指し、さらなる患者さまの健康の保持・増進に努めていきます。そして、今より1ミリでも前進できるよう精進して参ります。これからも応援のほどよろしくお願いいたします。



はり・マッサージ

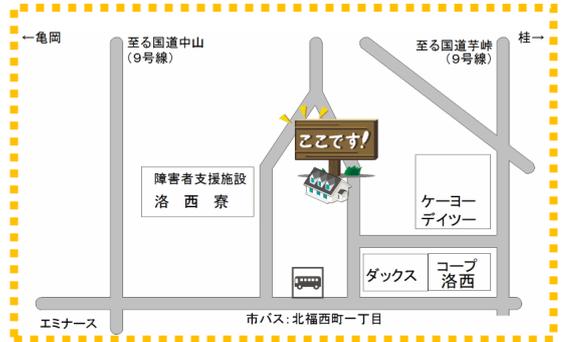
らくさい治療院

☎075-874-3946 📍610-1111京都市西京区大枝東長町1-265

営業時間 9:00～17:30 (予約時間 8:45～16:00)

休業日 GW お盆 年末年始 その他

| | | |
|-------------------|-----------|--------|
| コース&料金 | マッサージ 40分 | 2,400円 |
| | 60分 | 2,900円 |
| | 80分 | 3,400円 |
| ※鍼…上記コースにプラス 500円 | | |



●●●●●●●● スタッフからのメッセージ ●●●●●●●●

肩がこった、腰が痛い、何となく調子が悪い、
 いろいろな症状を皆さまそれぞれに感じたことがあると思います。
 私たちは日々、たくさんの患者さまから学ばせていただいています。
 また、スタッフ間でも技術向上のための努力を続けています。
 ちょっとしたことでも何か不調を感じたとき、
 らくさい治療院を思い出していただけるよう、これからも頑張っていきます。
 ありがとうございます。



ボランティア活動コーナー

■□■ 春の行事 神戸港クルージングと南京町 ■□■

5月15日(金)、平成27年度、春の行事で神戸港クルージング・南京町へ利用者40名、ボランティア19名、職員14名の合計73名で行ってきました。



まず、初めは神戸港クルージングです。オーシャンプリンス号に乗船し、ハーバーランド、ポートアイランド、中突堤・メリケンパークとまわり、潮の香りを楽しめた45分間の船旅でした。

次はメインの南京町。昼食は飲茶セット。フカヒレスープ、ショーロンポー、エビ餃子、肉ちまき、春巻き、から揚げ、杏仁豆腐・・・など全14品の豪華な、これぞ中華料理といった内容でした。おいしく、ボリュームもあって、みんなお腹いっぱい満足していました。



その後は、班ごとに分かれての自由行動で、お土産をいっぱい買ったり、喫茶店でコーヒーを飲んだりして自由に過ごしました。

天候にも恵まれ、暑いくらいでしたが、みなさん楽しまれた春の行事でした。

■□■ 朗読ボランティア・洛友会合同企画 七夕会・茶話会 ■□■

7月8日(水)に七夕会・茶話会を行いました。

洛友会の役員も新しい顔ぶれが加わり、皆が楽しめるようにと何度も会議を重ねて当日を迎えました。

まずは朗読ボランティアの演し物。効果音を使っでの演出がとても印象的でした。



ティータイムで一息ついたところで、次は洛友会の演し物。今年はいつもととは違ったことをしようと話し合い、ピアノ演奏を利用者の大迫氏に依頼し、生演奏のイントロクイズを企画しました。上手くいくか心配な部分もありましたが、ピアノの音色にも癒やされ、大いに盛り上りました。

ほんの短い時間でしたが、初夏の楽しい一時を過ごすことが出来ました。

ワンポイント解説

★ 二十四節気 ★

■ 二十四節気と心身の状態

1年間に24の季節を表す言葉がついています。

これは昔から伝わる人間の知恵によるもので、主に作物を作るにあたって、季節との関係で言葉がつけられたようです。この二十四節気の前日2日前くらいから当日までに心身の状態に影響を受けている人を、私はたくさん診てきました。実は私も二十四節気を敏感に感じてしまうタイプでして、季節の変わり目を感じながら、人間は自然の一部なのだ実感しています。

特に、立春・立夏・立秋・立冬の前日から18日前の期間を土用と言い、この期間に、心も体もいろんな症状（現象）を起こしている人がたくさんいます。これを前もって知っておくと少しですが心配とか不安が抑えられるのでちょっとした豆知識として持っておくことをお勧めします。

季節の変化を感じ、自分の心身の状態を気付かせてもらえるありがたい日として、自然界に感謝しましょう。

■ 二十四節気とあん摩鍼灸治療

～シンパシーポイントのすすめ～

マッサージをする側が思うポイント（凝り）と、
マッサージを受ける側がしてほしいポイント
（凝り）が一致することです。

する側、される側のポイント（凝り）が一致してこそ、
凝りがほぐれ、体が楽になるのです。

そして、爽快な日常生活をおくることのできるのです。



■ 自宅でできるツボセラピー

ヒャクエ（百会）・・・両耳の一番高いところを結んだ線上、頭頂部

チュウカン（中脘）・・・みぞおちとおへその真ん中

カンゲン（関元）・・・お腹の中心線上でおへそと恥骨の間

テサンリ（手三里）・・・肘を曲げた時にできるシワから指2本位手側

ゴウコク（合谷）・・・手の甲の親指と人差し指の間、人差し指側の骨の際

アシサンリ（足三里）・・・膝の皿の下、靭帯の外側にある窪みから指幅4本分

サンインコウ（三陰交）・・・足の内側のくるぶしの上、指幅4本分の骨の際

季節の変化をキャッチする自律神経。

ツボセラピーで、自律神経のバランスを整え、免疫を高めましょう。

興味のある方は、らくさい治療院にご来院ください。

笑顔でお待ちしております。

（らくさい治療院：小林）

【 新人利用者紹介 】

らくさい作業所

★ 河合 環 さん ★

4月8日より「らくさい作業所」でお世話になっています、河合環です。外に出かけることや、みんなでワイワイ楽しくおしゃべりをするのが大好きです。これから、みんなと楽しく作業をし、頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



★ 清水 武 さん ★

6月8日より「らくさい作業所」でお世話になっています、清水武です。ひとつの作業をやり遂げたときに達成感があり、とてもうれしく思います。利用者さんみんながやさしく気持ちが楽です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



盲人ホーム美鈴

★ 乾 直樹 さん ★

「花より団子、より電車がすき。でも人に喜んでもらうのはもっとすき！」な乾直樹と申します。「美鈴」にて、糸数部長や鬼塚指導員のご指導の下、患者様に喜んでいただけるよう、日々精進しております。一つ一つの課題をクリアしながら、「治療院の開業」という最終目標に向けて頑張っています。よろしくお願いいたします。



【 職員の異動等 】

| | 日付 | 氏名 | 所属 |
|--------|-------|--------|--------------------------|
| 採用 | 4月1日 | 上嶋 亜矢子 | 洛西寮 看護師 |
| 採用 | 4月1日 | 石田 光枝 | 洛西寮 生活支援員 |
| 採用 | 4月1日 | 長嶋 説子 | 紫野点字社 |
| 異動 | 4月1日 | 大川 靖子 | 洛西寮 事務員 → B型事業 目標工賃達成指導員 |
| 異動 | 4月1日 | 堀 佳苗 | 洛西寮 B型事業 目標工賃達成指導員 → 事務員 |
| 退職(定年) | 3月31日 | 鍵田 武彦 | 法人事務局長 → 4月1日より再雇用 |
| 退職 | 3月31日 | 小林 絵利 | 洛西寮 看護師 |

【 ご寄附・ご寄贈 】

1月～6月（五十音順・敬称略）

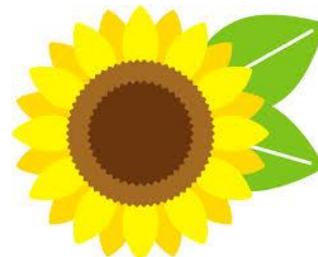
以下の方々より、ご寄附・ご寄贈を頂戴いたしました。
ありがとうございます。

ご寄附（9件・合計110,000円）

岡本房子・大芝幸雄・川本千春・酒井忠繁・友永満子・古川幸隆
平井厚子・平井多津子・山口徳子

ご寄贈（13件）

荒川尚次・出原恵子・佐古圭子・佐野志・鈴木綾・田井多加次・高須淳・田口茂則
田中美恵・平井多津子・むつみコーラス・山口徳子・李雅道



♪ 編集後記 ♪

事務局→らくさい作業所→事務局 と環境の変化は、いろんな「気づき」を与えてくれました。作業所のこと、利用者さんのこと、事務所のこと、そして、一番は自分自身のこと。「気づき」は、行動変容の要だとか。洛西寮も30周年ですが、私も社会にでてまもなく30年。もう一度初心に戻り、まずは利用者さんのため、法人のため、そして自分の成長のためにも頑張りたいです。（堀）